

少量の放射能は健康に良い

先日、ある職員から「広島には癌が多いような気がするのですが・・・、放射能の影響なのですか？」とビックリするような質問を受けました。たぶん、日本全国の一般の人達の偽らざる疑問なのではないかと思い、今回は、この題材にしました。

結論は、原爆で生き残った人々の平均寿命は通常の人より長く、発ガン率も非常に低く、年間 100 ミリシーベルト以下の微量放射能は逆に健康に良い、と言うものです。

広島には、比治山の上にABC C（放射線影響研究所）という組織があります。戦後、米軍はここに放射線影響研究所という組織を置きました。研究の目的は、「放射線が人体にどのように影響を与えるか」というものです。米軍は日本人をモルモットとして研究することにしたのです。一方、日本政府は被爆者を守るために被爆者援護法を制定し、被爆者手帳を交付、医療費を免除する事による被爆者の援護と、被爆者のフォローアップを行いました。

ところが、原爆投下から 70 年、驚くような結果が出たのです。大量の放射能を浴びれば、もちろん即死ですが、生き残った方々のその後を見てみると、ほとんどが長生きだったのです。統計的解析を行っても、有意の差をもって平均寿命が長く、癌の発生率も低いという結果がでたのです。別の言い方をすれば、広島の人々は癌にもなりにくく、長生きだったと言う訳です。

今では、このような現象は、放射線ホルミシス効果として学会では当たり前の知識なのですが、なぜかテレビ、新聞では報道しません。日本では、昔から温泉が健康に良い事は常識で、ラジウム温泉、ラドン温泉などの名前がついている所が、むしろ人気です。ちなみに、湯来温泉で年間 30 ミリシーベルト、三朝温泉では年間 50 ミリシーベルトの被爆を得ることができます。それに較べて、福島では年間 1 ミリシーベルトを越える場所があれば大騒ぎをしています。無知もここまでくれば、お笑いです。

では、何故、このように放射能について騒ぐのでしょうか。もちろん、原爆資料館の被爆直後の写真が、皆さんの脳裏に焼きついていて、「放射能は怖い」という先入観があるからだと思いますが、本当の原因は政治的なものと思われます。「日本から核技術をなくしたい、日本の国力を低下させたい」と思う近隣の国々から大量のお金が流れて来ていると言われています。原発反対のデモに参加している人達は、何と、日当 2 万円、ホテル付きなのです。ほとんどの日本人は善良ですから、テレビ、新聞、政治家が「オレオレ詐欺」と同じような事をするなんてとても信じられないため、まんまと騙されてしまうのですが、年寄

りが、「オレオレ詐欺」にひっかかるのと全く同じ構図なのです。そのおかげで、福島の人達は、年間 1 ミリシーベルトしかない放射能の地域から追い出され、野菜や魚が差別されて安く買い叩かれています。このように仕向けた民主党、とりわけ菅さんには、取り返しのつかない大きな罪があると思います。

放射能は年間 100 ミリシーベルト以下であれば、決して有害ではありません。むしろ、健康には不可欠な存在なのです。太陽も地球も核融合炉であり、日光は放射線です。私達は暮らしの中でも放射線を浴びています。日光、宇宙、大地その他からのものを合わせると、年間 2.4 ミリシーベルトです。ちなみに、医療で遭遇する放射線量を示してみました。

一般 X 線診断=1.27

X 線 CT=8.3

集団検診（胃）=0.60

集団検診（胸部）=0.05

歯科 X 線診断=0.03

核医学診断=4.2

胸部 CT=6.9 ミリシーベルト

驚いたと思います。私がいつもこの欄で述べているように、「新聞、テレビをそのまま信じてはダメですよ。今は、ネットという手段があるのですから、自分でネットで調べ、両方の意見を聞き、その上で、何が真実かを自分で判断しなくてはなりませんよ」ということなのです。これからの日本は、若い人達を中心になって支えていくしかないのですから、日本の歴史と伝統をしっかり学び、今現在の情報もしっかり学び、新しい日本を創り上げて行って下さい。

皆さん！タノシマス！